

記者資料提供（2026 年 1 月 27 日）

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）三好、大泉

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



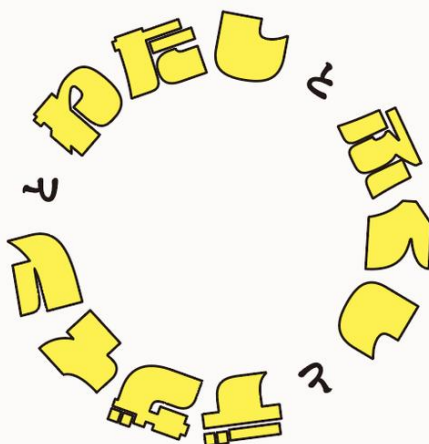
KIITO:

「わたしごと」として福祉に関わることを みんなで考えるトークイベントを開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）」では、社会貢献活動の活性化や創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりトークイベントを開催いたします。

「わたし」と「ふくし」と「デザイン」と
ー ひとりひとりの声を活かす場のづくり方

KIITO



2026年2月26日(木)
19:00-21:00

今津 新之助 ぼくみん代表／インターメディアエイター
大澤 健 ぼくみんコンテンツ・ディレクター
田中 悠介 design と代表／デザイナー

デザイン・クリエイティブセンター神戸と神戸市は、「わたし」と「ふくし」と「デザイン」をテーマに、「ひとりひとりの声を活かす場のづくり方」を考えるトークイベントと座談会を開催します。

「福祉」という言葉には、特定の支援やサービスにとどまらず、「誰もが安心して暮らしていける社会や地域をつくっていくこと」という意味があります。私たちが違いを認め合いながら、いきいきと働き、暮らしていくために何ができるでしょうか。また、支援する／される関係を越え、共につくる場はどのようにデザインできるでしょうか。

そのヒントは、ひとりひとりの声を大切にすると対話の場にあるのかもしれません。

今回は、異なる視点や価値がまじり合う、ひらかれた対話と創造の場をつくる「ぼくみん」から今津新之助さんと大澤健さん、デザイナーとして様々な領域の課題解決に取り組む「design と」の田中悠介さんをゲストに迎えます。

分野や領域の垣根を越える実践的な学びの場「ふくしデザインゼミ」や、過疎化・高齢化の進む滋賀県高島市での複合文化拠点「TAKASHIMA BASE」など活動事例を交えながら、「わたしごととして福祉に関わること」について考えます。

【開催概要】

タイトル：「わたし」と「ふくし」と「デザイン」と ーひとりひとりの声を活かす場のづくり方

日時：2026 年 2 月 26 日（木）19:00～21:00

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）3F KIITO:300

参加費：無料

定員：30 名（要事前申込、先着順）

ゲスト：今津 新之助（一般社団法人ぼくみん代表／インターメディアエイター）、大澤 健（一般社団法人ぼくみんコンテンツ・ディレクター）、田中 悠介（design と代表／デザイナー）

申込方法：ウェブサイト（<https://kiito.jp/>）からお申込みください

申込期間：2026 年 1 月 27 日（火）15:00 から KIITO ウェブサイトにて申し込み開始

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸、神戸市

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

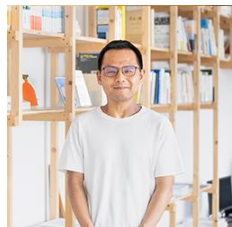
住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4 開館時間 | 9 時～21 時 休館日 | 月曜（祝日または振替休日の場合はその翌日）

WEB | <https://kiito.jp/>

【当日の進行（予定）】

- 19:00～19:10 はじめに
19:10～19:50 トーク ゲストによる「ふくしデザインゼミ」「TAKASHIMA BASE」等の事例紹介
19:50～20:00 休憩
20:00～20:30 座談会① 「わたし」と「ふくし」と「デザイン」をテーマにした関係者による座談会
20:30～21:00 座談会② ①を踏まえ、参加者も交えての意見交換・質疑応答

【ゲストプロフィール】



今津 新之助（一般社団法人ぼくみん 代表／インターミディエーター）

1976 年大阪府池田市生まれ。京都大学教育学部を卒業後、沖縄に移住し、人づくり・仕事づくり・地域づくりをテーマにしたコンテキスト・カンパニーを運営。2022 年に京都へ拠点を移し、株式会社 bokumin（現ぼくみん）と一般社団法人ぼくみんを設立。分野や立場を跳び越え、多様なアクターとの対話と協働を生み出すことを大切にしている。チームをつくり、プロジェクトを育てながら、関わる一人ひとりの持ち味や可能性が発揮される場や仕事づくりに取り組んでいる。



大澤 健（一般社団法人ぼくみん コンテンツ・ディレクター）

1997 年滋賀県大津市生まれ。京都大学で西洋哲学史を学び、教育や地域の現場に関わるなかで「どう生きるか」を模索していた頃、ぼくみんの前身「SOCIAL WORKERS LAB」に出会う。学生メンバー、新卒フリーランスを経て、ぼくみんで腰を据えて活動を始め、「ふくしデザインゼミ」をはじめとする学びの場づくり、福祉法人の採用伴走、地域プロジェクト、制作進行、ライティングなど幅広く担う。



田中 悠介（design と 代表／デザイナー）

1985 年大阪生まれ。神戸大学大学院工学研究科建築学専攻修了。大学大学院で建築を学ぶも、建物を建てるだけでなく、あらゆる領域の課題に対してニュートラルな視点を持って解決できるようになりたいと思い、デザイナーになることを決意。数社のデザイン事務所を経て、2016 年に「design と」を設立。デザインの分野にとらわれず、企業・地域・公共領域など幅広いプロジェクトに携わっている。

【ゲストが実施する活動の様子】



「ふくしデザインゼミ」



「ふくしデザインゼミ」



「TAKASHIMA BASE」

デザイン・クリエイティブセンター神戸では、2018 年に「+クリエイティブゼミ vol.28 障害者福祉編 障害福祉サービス事業所とそこで製作される「ふれあい商品」の未来をデザインする」を開講したことをきっかけに、そこから生まれたアイデア、神戸市内の福祉事業所の情報をカタログのように閲覧でき、ゼミから新しい仕事やつながりが生まれることを目的としたウェブサイト「ふくしワザ」の運営サポートを継続的に行っています。

ふくしワザについて：神戸の福祉事業所の「ワザ」＝「持っている技術・作ることができる商品」を紹介するサイトです。神戸にある福祉事業所それぞれが「できること」を発信し、商品や作業を発注したい企業・消費者と事業所、双方のニーズをマッチングします。HP：<https://fukushiwaza.jp/>